

# 8 緊急時の対応

## 事故発生・重症

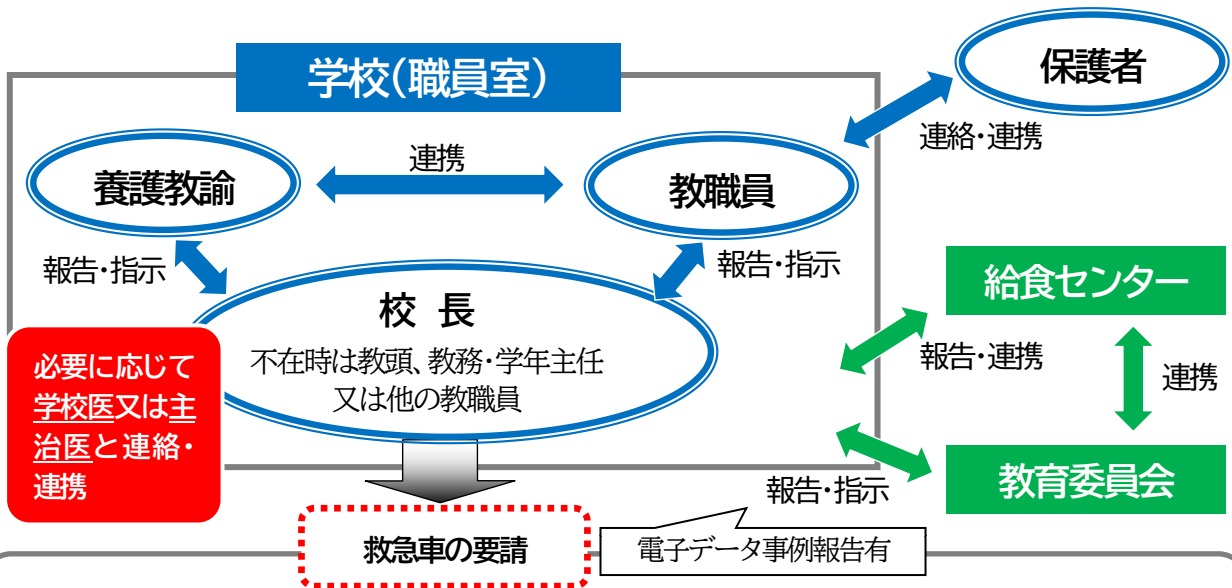
### 事故発生の連絡

近くの教職員・児童生徒など

### 現場へ急行

養護教諭中心に複数職員で対応

- ・事故状況の把握と事故者の確認
- ・事故者の安全確保・協力要請
- ・応急処置(エピペン<sup>®</sup>・AED)の準備(必要に応じて実施)
- ・緊急通報(119)



### 【救急車を要請するとき】(概要を説明できる教職員が電話することが望ましい)

- ①「救急です。」  
「食物アレルギーによるアナフィラキシー発症 児童生徒の搬送依頼です。」
- ② 状態・経過を簡潔に説明する(質問に答えられなくても、到着時には答えられるよう準備)
  - ・だれがいつ・どこで ○歳 性別 食事後、○○分経過後 ○○学校
  - ・どこが おなか、全身の皮膚になど
  - ・どのような状態 全身じんましん、ぜん息の様な呼吸音がある、嘔吐など
  - ・かかりつけ医 ○○○病院
  - ・エピペン<sup>®</sup> 処方の有無、接種の有無・時刻(○○時○○分)
- ③ 連絡者の所在地 学校の住所等
- ④ 救急車が来るまでの手当方法を聞く。
- ⑤ 搬送医療機関が決まっていたら伝える。

### 【救急車を要請したら】

- ① 救急隊員からの電話に対応できるようにする。
- ② 児童生徒の保険証の写し、財布、エピペン<sup>®</sup>などを持参。使用済みエピペン<sup>®</sup>も持参、又は救急隊員へ渡す。

### 医療機関を受診

- ◆ 息苦しさ(呼吸困難)、のどがしめつけられる感じなどの症状があらわれたら、直ちにエピペン<sup>®</sup>を接種する。(アドレナリンの効果持続時間は15~20分のため、医療機関への搬送を急ぐ。)
- ◆ AEDについては、必要がある時以外は作動しないため、迷うことなく使用する。
- ◆ 事故の対応については、必ず複数人で当たるようにする。